

オリンピック・パラリンピックとボランティア活動

東京 2020 大会では、県内で複数の自治体がボランティア活動に携わるようになっていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から無観客での開催になったことで、ほとんどの自治体でボランティア活動ができなくなってしまいました。その中で行われた神奈川県内のボランティアの取組事例について紹介します。

1 オリンピック・パラリンピックのボランティア

・東京 2020 大会ボランティアの活動内容について

ボランティアには、組織委員会が募集する競技会場内で競技の運営等に携わる「大会ボランティア」と、自治体が募集する競技会場が所在する自治体での観客誘導や関連イベント等に携わる「都市ボランティア」の、大きく分けて2種類がありました。東京 2020 大会で予定されていたボランティアの活動内容等は次のとおりです。

	大会ボランティア (フィールドキャスト)	都市ボランティア (シティキャスト)
運営主体	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会	会場所在自治体
活動場所・内容	競技が行われる会場や選手の生活ベースとなる選手村、その他大会関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポートなど、大会運営に直接携わる活動を行う。	空港、都内主要駅、観光地、競技会場の最寄駅周辺及びライブサイトにおける観光・交通案内など
人数	80,000 人	30,000 人（東京都） ※自治体によって募集人数は異なる

*その他、ホストタウン等も含めた自治体が独自に募集したボランティアもある。

*東京都のシティキャストの役割は、観客の案内が主であったが、無観客開催の決定やライブサイトの中止に伴い、「大会の応援」「大会情報の提供」「東京・地域の魅力発信」等の活動を行った。

<パラマラソン観戦自粛の呼びかけ>



<親子ボランティア体験>

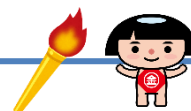


<都庁における大会関連展示の案内>



<東京都オリンピック・パラリンピック準備局ウェブサイトより引用>

・相模原市で行われた“自転車競技ロードレース”



7月24日及び25日の2日間で行われたオリンピック自転車競技ロードレースは、東京都の武蔵野の森公園をスタートし、神奈川県相模原市、山北町（山北町は男子のみ）、山梨県を経て、静岡県富士スピードウェイがゴールの男子約244km、女子約147kmがコースとなり、コース沿道においては、「コースサポーター」と呼ばれる多くのボランティアが携わりました。



神奈川県内でコースの一部となった相模原市（約30km）では、各日ともに約700人のボランティアが「TEAM SAGAMIHARA」として携わりました。

○「コースサポーター」とは

自転車競技ロードレースの実施に当たり、コース沿道で資機材の設置等のサポートを行うボランティアで、同競技の成功の鍵を握るスタッフの一員です。

なお、「コースサポーター」は、組織委員会と連携し、自転車競技ロードレースに限ってコース沿道の各市町村が募集するボランティアで、「大会ボランティア」や「都市ボランティア」とは異なります。

東京2020大会を契機とした取組として、相模原市では国内最大規模の国際自転車ロードレース競技である「ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージ」を2021年5月29日に初開催し、オリンピック自転車競技ロードレースのコースの一部を使用しました。今後、毎年5月中下旬に同大会を実施することが決定されており、引き続き運営サポートを担うボランティア「TEAM SAGAMIHARA」が募集されます。



相模原市緑区イメージキャラクター「ミウル」

このように、オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動は、東京2020大会で終わるのではなく、有形・無形の“レガシー”の一つの形として、次世代に継承されていきます。



「ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージロゴ」



＜自転車競技ロードレース防護マットの設置＞



＜自転車競技ロードレース交通規制の準備＞



＜活動後に交流するボランティア＞



この「ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージ」の取組が、相模原市における東京2020大会のレガシーの一つなんだね。

・ 県立光陵高等学校が関わった “サッカーボールパーソン”



ここでは、東京 2020 大会のサッカーの試合でボールパーソンを務めた県立光陵高等学校サッカー部（以下、光陵高校）の活動を紹介します。どんな競技でも、多くの人に関わって試合は行われます。選手や監督、コーチ、審判員はもちろん、裏方のスタッフの支援無くして、試合の成功はあり得ません。それは、オリンピック・パラリンピックでも同様です。

○「ボールパーソン」とは、

野球、サッカー、テニスなど球技の試合において、試合に用いるボールの管理などを行います。サッカーの試合では、競技のフィールドの外に出たボールを拾い、選手にボールを渡す人のことを指し、試合をスムーズに進める上で大変重要な役割として知られています。

神奈川県サッカー協会からの依頼を受け、県内では光陵高校以外にも複数の高等学校サッカー部がボランティアとして携わりました。この中で、光陵高校が活動したのは、7月30日、8月2日、そして8月7日の3日間で、会場は横浜国際総合競技場（日産スタジアム）でした。それぞれ、12人ずつが参加し、ボールパーソンとして、試合のスムーズな進行の一役を担いました。

オリンピック・パラリンピックという大きな国際大会であるため、国際オリンピック委員会による準備は1年前から始まりました。そのため、このボランティア活動に参加できたのは2、3年生の24人でした。

選手に一番近い場所で試合を支える運営スタッフであるため、ボランティアの本番当日も、試合開始3時間前から現地入りし、リハーサルを行い、入念な準備をしました。

試合を1つやるために、色んな人たちが関わっていることを知ることができました。日頃から、練習や試合ができることに感謝するようになりました。



外部とのつながりを持てたことが大きかった。君たちにとっても、普段言われないようなことを、全く知らない人から言われることで得られるものは大きいと思うよ。



<光陵高校サッカー部 2年生 11名 3年生 1名 8月2日会場にて>



<光陵高校サッカー部 3年生 12名 7月30日会場にて>

2 選手と同じ夢を描いて

・チーム古澤の活動と取組



「誰かを支える」「誰かを助ける」皆さんは、ボランティアに対してこういったイメージを持っていませんか？ここではそんなイメージを新たに作る取組事例として、桐蔭横浜大学“チーム古澤”（以下、チーム古澤）の活動を紹介します。

チーム古澤は、東京2020パラリンピック競技大会に車いすバスケットボール日本代表として出場した古澤拓也（WOWOW）選手とともに同大会に向けて、古澤選手が桐蔭横浜大学在学中に活動したチームです。チームは「マネジメント」「バスケットボール」「トレーナー」の3つのカテゴリーに分かれており、それぞれの分野が協働し、古澤選手とともに活動しました。

「マネジメント」

練習日程の調整やメディアの取材に関わる調整等のチームマネジメント

「バスケットボール」

バスケットボール部に所属する学生が、代表合宿以外の日常的なシュート練習等を大学で行うための調整と練習

「トレーナー」

練習の準備運動や授業の合間の筋力トレーニングなど、古澤選手と共に学業とバスケットボールを両立できるような活動

第三者からは「サポートをしている」ように見えるかもしれませんが、インタビューに答えてくれたチームの方々全員が、「一緒に活動していた私たちには『支えている』という感覚はなかった」と話していました。一緒に活動することを通して、仲間であったことが強く伝わってきました。

では、このチーム古澤の、活動を通して得たことや関わったことによる気持ちの変化などについて一緒に見ていきましょう。

ボランティアという概念自体をそもそも持っていなかったが、チーム古澤は、1つの目標に向かって、チームとして取り組んでいた。得られたことは、上手く言葉では表現できない。

ボランティアに対してはネガティブな感覚を持っていたが、チーム古澤は自分が成長できる場であり、この活動を通してボランティアに対する価値観は大きく変わった。一生の思い出を得ることができた。

ボランティアには必ず得られることがある。このチーム古澤での活動を通して、やりがいを見つける力を得ることができた。何かを得ようと思っただけで行動すれば、得られることが分かった。

チーム古澤は、大学の講義などを通して得た知識ややりたいことを生かし、それを発揮する「現場」だった。自分の意思を持って、自分が学ぶ場所がボランティアだと思う。何事にも臨機応変に対応する力が身に付いた。

このように、互いに成長し合える関係で、「支える」「助ける」「手伝う」とは異なる価値観・考え方を持って活動していたのがチーム古澤です。最後に、本教材で学習する皆さんへのメッセージを紹介します。

★皆さんへメッセージ★

「自分に興味があることを探して見つける。そして、それに関わるボランティアに飛び込んでみよう！」

「自分がやりたいことを見つけてもらいたいが、何をやりたいか分かっていなくても、参加することで何かしら得られることは必ずある。学び、発見があるのがボランティア活動だと思う。」



<古澤選手（左下）とチーム古澤のスタッフ絹村さん（左）と桜井さん（右）>

「このチーム古澤の参加スタッフは皆、自分のやりたいことが明確だった。ボランティアは、始めるまではネガティブな面があるかもしれないが、やらされている感ではなく、主体的に取り組んでもらいたい。そうすることで、自分にいろんなことをもたらします。」

自分が興味を持っているもの、夢中になれることを見つけて、ボランティアに参加できるといいね



<古澤選手（中央）とチーム古澤のスタッフの皆さん>

このチームの仲間たちがいたからこそ、東京 2020 パラリンピック大会に向けた日々や大会期間中に頑張ることができました。楽しい時間だけでなく、辛い時もみんなと過ごした日々は僕の最高の思い出です。（古澤選手より）

オリンピック・パラリンピックとボランティア活動

【学習のねらい】

オリンピック・パラリンピックにおけるボランティア活動事例を知ることを通して、“支える”ことの楽しさや大切さを感じてもらい、また“支えること”自体を考えてもらうことで、ボランティア活動をより身近なものとして捉えられ、ボランティア活動に参加する意欲を高められるようにする。

小学校

- 【発問1】オリンピック・パラリンピックにおけるボランティアの活動について、大会ボランティア（フィールドキャスト）と都市ボランティア（シティキャスト）のどちらに興味を持ちましたか。またそれはなぜですか？
- 【発問2】日常生活を通して、あなたが支えてもらったことを思い出してみよう。
- 【発問3】今後、あなたがボランティア活動に参加する機会があれば、どんなことをしてみたいですか。それをするすることで、周りの人はどんな気持ちになると思いますか。書き出してみよう。

指導ポイント

興味をもった活動について思ったことを文章で表したり、また、支えてもらったことを考えさせたりすることで、身近なこととボランティア活動をつなげて考えさせ、ボランティア活動に対する興味・関心を高めます。

中学校・中学部・中等教育学校前期課程

- 【発問1】オリンピック・パラリンピックにおけるボランティアの活動について、大会ボランティア（フィールドキャスト）と都市ボランティア（シティキャスト）のどちらに興味を持ちましたか。またそれはなぜですか？
- 【発問2】日常生活を通して、あなたが支えてもらったことを思い出してみよう。
- 【発問3】桐蔭横浜大学のチーム古澤の活動や東京2020大会での相模原市や光陵高校の取組を参考に、今後、あなたがボランティア活動に参加する機会があれば、どんなことをしてみたいですか。それをするすることで、周りにどんな影響を与えたいと思いますか。書き出したものを友達と話し合ってみよう。

指導ポイント

興味をもった活動について思ったことを文章で表したり、また、支えてもらったことを考えさせたりすることで、身近なこととボランティア活動をつなげて考えさせ、意見共有・交換を通してボランティア活動に対する興味・関心を高めます。

高等学校・高等部・中等教育学校後期課程

- 【発問1】あなたにとって、ボランティア活動とはどんなことだと思いますか。また、指導資料（特に、チーム古澤の取組事例）を読んで、ボランティア活動に対するイメージはどう変わりましたか。例を参考に書き出してみよう。
- 【発問2】東京2020大会のレガシーを残す取組として相模原市の事例を紹介しました。自分が住んでいる地域ではどんな取組が実施されているか調べてみましょう。また、自分がこれからボランティア活動に参加するとしたら、どんな活動をしたいですか。その理由を考え、それぞれについて書き出したものを友達と話し合ってみよう。

指導ポイント

興味をもった活動について思ったことを文章で表したり、考えさせたりすることで、身近なこととボランティア活動をつなげて考えさせ、意見共有・交換を通してボランティア活動に対する興味・関心を高めます。そして、東京2020大会のレガシーを残す取組を調べることで、今後のボランティア活動への参加に意欲を持たせます。

オリンピック・パラリンピックとボランティア活動

() 年 () 組 () 番 名前 ()

- 1** オリンピック・パラリンピックにおけるボランティアの活動について、大会ボランティア（フィールドキャスト）と都市ボランティア（シティキャスト）のどちらに興味を持ちましたか。またそれはなぜですか？

きょうみ も 興味を持った ボランティア	大会ボランティア	都市ボランティア
りゆう 理由		

- 2** 日常生活を通して、あなたが支えてもらったことを思い出してみよう。

日常生活で支え てもらったこと	
--------------------	--

- 3** 今後、あなたがボランティア活動に参加する機会があれば、どんなことをしてみたいですか。それをする中で、周りの人はどんな気持ちになると思いますか。書き出してみよう。

あなたがしてみ たいボランティ ア活動 ・ 周りの人の 気持ち	
--	--

オリンピック・パラリンピックとボランティア活動

() 年 () 組 () 番 名前 ()

- 1** オリンピック・パラリンピックにおけるボランティアの活動について、もしあなたが東京2020大会でボランティアに参加していたとしたら、大会ボランティア（フィールドキャスト）と都市ボランティア（シティキャスト）とのどちらに参加したいですか。またそれはなぜですか？

参加したい ボランティア	都市ボランティア	大会ボランティア
理由		

- 2** 日常生活を通して、あなたが支えてもらったことを思い出してみましょう。

日常生活で支えてもらったこと	
----------------	--

- 3** 桐蔭横浜大学のチーム古澤の活動や東京2020大会での相模原市や光陵高校の取組を参考に、今後、あなたがボランティア活動に参加する機会があれば、どんなことをしてみたいですか。それをすることで、周りにどんな影響を与えたいと思いますか。書き出したものを友達と話し合ってみましょう。

あなたがしてみたいボランティア活動 ・ 周りへの影響	自分の考え	話合いでの友達の考え など

オリンピック・パラリンピックとボランティア活動

()年()組()番 名前()

- 1** あなたにとって、ボランティア活動とはどんなことだと思いますか。また、指導資料（特に、チーム古澤の取組事例）を読んで、ボランティア活動に対するイメージはどう変わりましたか。例を参考に書き出してみましよう。

これまでのボランティアに対するイメージ	ボランティアに対するイメージの変容

- 2** 東京2020大会のレガシーを残す取組として相模原市の事例を紹介しました。自分が住んでいる地域ではどんな取組が実施されているか調べてみましょう。また、自分がこれからボランティア活動に参加するとしたら、どんな活動をしたいですか。その理由を考え、それぞれについて書き出したものを友達と話し合ってみましよう。

取組事例		
これからやってみたいボランティア活動	自分の考え	話合いでの友達の考え など
理由	自分の考え	話合いでの友達の考え など